A 試合会場レポート

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

試合番号 **166**　開催日 **2019/01/05**

会場： **広島県立総合体育館**

観客数:4460	開始時刻:13:00	終了時刻:14:59	試合時間:1:59	主審:千代延　靖夫	副審:西中野　健

JTサンダーズ

監督　：ヴコヴィッチ　ヴェセリン
コーチ　：サトレル　ティネ

通算　：8 勝 6 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：27

FC東京

監督　：ロディ　アレッサンドロ
コーチ　：坂本　将康

通算　：3 勝 11 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：9

3	25	第1セット【0:23】	18	1
	24	第2セット【0:29】	26	
	25	第3セット【0:24】	19	
	25	第4セット【0:27】	23	
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ 3　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ 0

<監督コメント>

天皇杯からの中断期間を経て、一つ目の試合はいつも難しい試合になるが、今日も難しかった。
なかなかリズムがつかめなかったが、最終的にポイント３を取ることができた事に対して、選手たちにおめでとうと言いたい。
毎年、グリーンアリーナで行われる試合は、いつも最高の雰囲気の中で試合をすることができている。本日も素晴らしかった。
チームを代表してファンの皆様へは御礼申し上げます。ありがとうございました。

第1セット

25	山本	ｴﾄﾞｶﾞｰ	小田嶋	手塚(野瀬)	18
	安永	小野寺	長友(小森)	山田(要)	
	深津	劉	ﾃﾞﾛｯｺ	栗山(玉宅)	

リベロ: 井上(航)　リベロ: 橘

第2セット

24	ｴﾄﾞｶﾞｰ	小野寺	栗山(玉宅)	ﾃﾞﾛｯｺ	26
	山本	劉(武智)	山田(要)	小森(佐藤)	
	安永(久原)	深津	手塚(野瀬)	小田嶋	

リベロ: 井上(航)　リベロ: 橘

第3セット

25	劉	深津	小田嶋	手塚	19
	小野寺	安永	小森	山田(要)	
	ｴﾄﾞｶﾞｰ	山本	ﾃﾞﾛｯｺ	栗山(玉宅)	

リベロ: 井上(航)　リベロ: 橘

第4セット

25	深津	安永(久原)	小森(佐藤)	小田嶋	23
	劉	山本	ﾃﾞﾛｯｺ	手塚	
	小野寺	ｴﾄﾞｶﾞｰ	栗山(玉宅)	山田(要)	

リベロ: 井上(航)　リベロ: 橘

第5セット

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

本日はご来場いただきありがとうございます。
今日は試合の準備ができているところを見せたかった。
とても難しい試合になるとことは分かっていました。ＪＴは天皇杯で優勝したので、私たちはあきらめることなく、ベストを尽くせました。
今日のプレーには満足しております。

<要約レポート>

第１セット、天皇杯で優勝して勢いに乗るJTサンダーズは序盤から劉、エドガーの高く強烈なアタックでFC東京を一気に突き放した。一方のFC東京はデロッコがアタック、ブロックを連続で決めて流れを取り戻そうとしたが、序盤の差が大きく、JTが第１セットを先取した。
第２セット、FC東京は出だしからデロッコのサービスエース、山田のブロックが連続で決まり、流れを掴んだ。JTはエドガー、小野寺のアタックで徐々に追い上げると、リベロ井上の粘りのレシーブから小野寺がアタックを決めて12−12として、遂に追いついた。そこからは一進一退の攻防を繰り広げ、デュースにまでもつれたが、ここからFC東京がデロッコにボールを集めて、このセットを奪い返した。
第３セット、今度はJTがエドガーの連続ブロック、アタックで序盤から突き放していく。FC東京が小田嶋のブロック、デロッコのアタックで追いすがるも、JTは終盤に深津、小野寺がブロックを決めて、逃げ切った。
第４セット、FC東京は小田嶋が連続でサービスエースを決め、さらにデロッコ、栗山がアタックを決めてリードを奪った。しかしJTは深津がツースパイク、山本、小野寺のアタックで徐々に点差を詰めて、エドガーがアタックを連続で決めて追いついた。さらにJTは劉がアタック、ブロックを連続で決めてリードすると、最後は小野寺がアタックを決めて、会場を緑色に染めた広島のファンに勝利をプレゼントした。

作成者 ： 廣重　理恵

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。